

刺激的な日々

今年 6 月 13 日から 3 週間、燕労災病院で総合診療学の臨床実習をさせていただきました。実習の内容は、内科外来と救急外来を主体としたもので、他にもコ・メディカルの方々と交流したり、放射線科の先生に読影の仕方を教えてもらったりと様々な経験を積みました。

個人的に 1 番印象に残っているのは、内科外来です。実際に自分で問診と身体診察をし、それらの結果を踏まえて診断に必要な検査をオーダーしなければならないのですが、初めてのことで最初は全くできませんでした。しかし、3 週間のうちにできることが少しずつ増えていき、ぎこちないながらも自分なりの診療を行えるようになりました。根気強くアドバイスをしてくださった指導医の先生に感謝しています。

また、採血やルート確保、大腿動脈穿刺、縫合、胸腔穿刺・ドレナージなど多くの手技をやらせていただきました。

非常に刺激的で濃密な 3 週間でした。今回の実習で経験したことを糧に、患者さんに「この先生に診てもらえれば間違いない」と思っていただけのような医師像を目指し精進していきたいと思います。